



ディスカバー農山漁村（むら）の宝へご応募ください！

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、農山漁村の有する潜在的な力を引き出すことにより、地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信するものです。

今年で5回目となり、選定されると認定証が授与され、農林水産省ホームページで活動が紹介されるほか、各種メディアへの紹介記事の掲載やイベントへの出展支援等、全国的な情報発信の後押しが受けられます。

農泊、都市と農村の交流、ジビエ、輸出、6次産業化、移住・定住の推進等、農林水産業や地域の活力創造に繋がる取組について幅広く募集します。



応募先→九州農政局農村振興部農村計画課 TEL 096-211-9111(内線4613)

旬の農産物 二条大麦

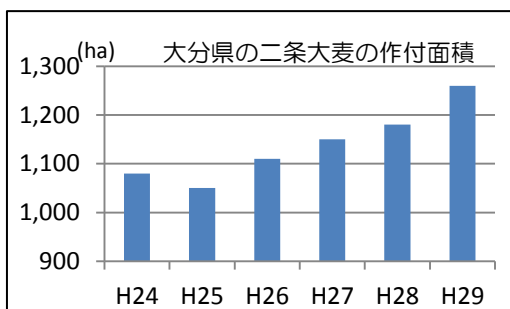


大分県オリジナル品種
「トヨノホシ」

大分県は麦焼酎が有名ですが、他県産麦焼酎との差別化を図るため、県オリジナル焼酎用二条大麦の研究開発を県酒造組合と共同で進めています。

醸造適性に優れた新品種「トヨノホシ」を開発し、平成28年産から本格的に生産を始め、年々作付け面積は増加しています。

主に、豊後大野市で作付けされており、5月下旬から収穫期を迎えています。



農業者団体等との意見交換会

平成30年5月17日に国東市の「農事組合法人いけのうち」と意見交換会を行いました。

いけのうちの堀代表から、「組織構成員の高齢化のため、就農学校（ファーマーズスクール）で技術を習得した新規就農予定者（卒業生）に農地を提供し、小ねぎリースハウスを導入する予定。受け入れ準備の中で新規就農者の住宅がなかなか見つからなくて困っている」等の意見が出されました。



九州農政局大分県拠点「農林水産業萬（よろず）相談所！」です。

大分県内の農林水産業関係者の皆様こんにちは。九州農政局大分県担当の地方参事官「上崎博資（かんざきひろし）」です。

大分県拠点は、皆様が一番近い、現場と国の農政を結ぶ「農林水産省最前線基地」です。大分県拠点では、皆様の更なる所得向上に向けた一助として、「生産者等の皆様との意見交換」に一番力を入れて取り組んでいます。

農林水産業に関する「ご意見」、「ご要望」は元より、「ちょっと国に言いたいことがある」、「国の制度のここが解りにくいので説明に来てほしい」等々、何でも結構です。皆様、是非ご活用下さい。

ご連絡頂ければ、私が飛んで参ります。

